

教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価報告書

—令和6年度事務実施事業—

二戸市教育委員会

令和7年第8回二戸市教育委員会定例会（令和7年8月28日議決）

目 次

第1	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価	3
1	点検・評価制度の概要	3
2	点検・評価の実施	3
	(1) 点検・評価する内容	3
	(2) 議会への報告	3
	(3) 市民への公表	3
第2	教育委員会の組織と活動	4
1	二戸市教育委員会の組織	4
2	教育委員会の活動	4
	(1) 会議の開催回数	4
	(2) 議決の状況	4
	(3) 会議等開催内容	5－6
	(4) 総合教育会議の開催内容	7
	(5) 教育委員会の会議以外の活動状況	7
第3	二戸市教育振興基本計画に基づき令和6年度に実施した主な事業の取組実績	8
1	点検・評価制度の基準	8
2	二戸市教育振興基本計画の施策体系	8－9
3	事業の点検・評価	10－35

第1 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

1 点検・評価制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律には、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の実施

二戸市教育委員会では、令和3年2月に策定した二戸市教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）に掲載されている主要事業の施策区分別に、令和6年度における取組状況について、点検及び評価を行いました。

評価は、それぞれが分野の目的に沿った取り組みができているかどうかについて、担当課による自己評価（一次評価）を行い、その内容について学識経験を有する者の知見を活用（二次評価）して行います。

（1）点検・評価する内容

- ①令和6年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）
- ②二戸市教育振興基本計画に基づき令和6年度に実施した主な事業の取組実績

（2）議会への報告

二戸市議会9月定例会へ報告書を提出します。

（3）市民への公表

市民への公表は、市議会へ報告後、教育委員会ホームページへの掲載により行います。

【二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会委員】（敬称略、順不同）

氏名	委員の区分
佐藤 洋子	二戸市学校運営協議会委員
荒川 優子	二戸市社会教育委員
小保内 威彦	二戸市文化財調査委員
新毛 公生	教育全般に学識経験を有する者

第2 教育委員会の組織と活動

1 二戸市教育委員会の組織

教育委員会は、二戸市立の小学校・中学校、図書館などの教育機関の設置、管理及び学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する行政機関であり、市長が市議会の同意を得て任命した、教育長と4名の委員で構成されています。

教育長の任期は3年、委員の任期は4年で、再任も認められています。

教育長は、会務を総理し、教育委員会を代表します。また、教育委員会の権限に属する事務を処理するために、教育委員会に事務局が置かれています。

【二戸市教育委員会教育長及び委員】（令和7年3月31日現在）

職名	氏名	職歴等
教育長	加藤 暢之	元小学校長
委員（教育長職務代理者）	荒谷 直大	農 業
委員	佐々木 千穂	自 営 業
委員	阿 部 歩	自 営 業
委員	菅 原 佳子	元小学校長

2 教育委員会の活動

教育行政の基本的な方針の決定や、諸課題の解決等の重要案件について審議し、諸事項についての意見・情報交換を行うため、毎月教育委員会定例会を開催するとともに、急を要する案件を処理するため、教育委員会臨時会を開催し、教育行政の適正な運営に努めました。

また、市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し、一致して執行に当たるための協議・調整の場として、総合教育会議を開催しています。

（1）会議の開催回数

- 定例会 12回
- 臨時会 1回
- 総計 13回

（2）議決の状況

- 教育委員会規則・規程等の制定・改廃 3件
- 教育機関の長・その他機関等の長の人事 5件
- 協議会・審議会委員等の任命・委嘱 8件
- 市議会提出議案への同意 6件
- 教科書採択 2件
- その他 5件
- 総計 29件

(3) 会議等開催内容

会議名	月日	内 容
第4回 定例会	4.23	一般報告 議案第1号 二戸市社会教育委員の解職及び委嘱について 議案第2号 二戸市立図書館協議会委員の解職及び委嘱について 議案第3号 二戸市浄法寺文化交流センター運営委員会委員の委嘱について 議案第4号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 二戸市教育委員会電子文書取扱規程の一部を改正する訓令 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第5回 定例会	5.24	一般報告 議案第1号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 専決処分の承認について 令和5年度二戸市一般会計補正予算(第12号)(うち教育委員会分) 議案第2号 二戸市学校給食センター運営委員会委員の解職及び委嘱について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第6回 定例会	6.28	一般報告 議案第1号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 市議会定例会提出議案への同意について 令和6年度二戸市一般会計補正予算(第2号)(うち教育委員会分) 議案第2号 二戸市立中学校部活動指導員配置要綱 議案第3号 二戸市シビックセンター運営協議会委員の委嘱について 議案第4号 二戸市芸術文化振興懇話会委員の委嘱について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第7回 定例会	7.26	一般報告 議案第1号 令和7年度使用小学校教科用図書の選択について 議案第2号 令和7年度使用中学校教科用図書の選択について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第8回 定例会	8.22	一般報告 議案第1号 二戸市シビックセンター運営協議会委員の解職及び委嘱について 議案第2号 市議会定例会提出議案への同意について 令和6年度二戸市一般会計補正予算(第4号)(うち教育委員会分) 議案第3号 教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検及び評価について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第9回 定例会	9.26	一般報告 議案第1号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 市議会定例会提出議案への同意について 令和6年度二戸市一般会計補正予算(第5号)(うち教育委員会分) 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第10回 定例会	10.29	一般報告 議案第1号 二戸市教育委員会服務規程の一部を改正する訓令 議案第2号 教育財産の用途廃止について 報告第1号 二戸市教育委員会の後援・共催等について

会議名	月日	内 容
第 11 回 定例会	11. 29	一般報告 議案第 1 号 二戸市教育委員会表彰の受賞者について 議案第 2 号 市議会定例会提出議案への同意について 令和 6 年度二戸市一般会計補正予算（第 7 号）（うち教育委員会分） 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第 12 回 定例会	12. 26	一般報告 議案第 1 号 臨時専決処理に関し承認を求めることについて 市議会定例会提出議案への同意について 令和 6 年度二戸市一般会計補正予算（第 8 号）（うち教育委員会分） 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第 1 回 定例会	1. 28	一般報告 議案第 1 号 その他の教育機関の長の人事について 議案第 2 号 二戸市芸術文化振興懇話会委員の解職及び委嘱について 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第 2 回 定例会	2. 12	一般報告 議案第 1 号 令和 7 年度教育施政方針要旨について 議案第 2 号 市議会定例会提出議案への同意について 令和 6 年度二戸市一般会計補正予算（第 11 号）（うち教育委員会分） 令和 7 年度二戸市一般会計予算（うち教育委員会分） 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について
第 1 回 臨時会	3. 3	一般報告 議席の決定 議案第 1 号 教育機関の長の人事について
第 3 回 定例会	3. 24	一般報告 議案第 1 号 課長等の人事について 議案第 2 号 教育機関の長の人事について 議案第 3 号 その他の教育機関の長の人事について 報告第 1 号 二戸市教育委員会の後援・共催等について

(4) 総合教育会議の開催内容

- 開 催 1回 (令和6年10月29日)
- 審議内容 今年度及び今後の主な教育事業等について

(5) 教育委員会の会議以外の活動状況

- 教育長による学校訪問を行い、学校現場の実態把握のため校長等職員と情報・意見交換を実施しました。
- 市民に学校を公開する日や学校公開研究会などを視察しました。また、学校の式典(入学式・卒業式)や行事(運動会・学習発表会等)へ出席し、児童・生徒を激励するとともに、保護者・地域住民の様子を含めた学校全体の状況把握と情報収集を行いました。
- 岩手県市町村教育委員協議会委員研修会、東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会などに参加し、教育課題の把握及び分析、委員としての資質向上に努めました。
- 定例会等の会議に付議すべき議案の事前説明やその他協議を要するものについて、教育委員会協議会を開催し、研究を行いました。
- 教育振興運動集約集会やはたちの集い、芸術文化総合フェスティバル、文化財講演会などに参加し、教育行政の各分野における知見を深めました。

第3 二戸市教育振興基本計画に基づき令和6年度に実施した主な事業の取組実績

1 点検・評価制度の基準

A :	・令和6年度に実施するものとした計画を、予定どおり完了した。 ・数値目標に対し、『100%以上』の実績となった。
B :	・令和6年度に実施するものとした計画を、概ね達成できた。 ・数値目標に対し、『80%以上 100%未満』の実績となった。
C :	・令和6年度に実施するものとした計画に、やや遅れがある。 ・数値目標に対し、『60%以上 80%未満』の実績となった。
D :	・令和6年度に実施するものとした計画に、かなり遅れがある。 ・数値目標に対し、『60%未満』の実績となった。

※数値目標の達成状況を基本としつつ、事業内容も含め総合的に評価する

2 二戸市教育振興基本計画の施策体系

基本理念・基本目標

学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり

分野1 学校教育の充実

施策（1）コミュニティ・スクールの導入と推進

項目① 地域とともにある学校づくり

施策（2）学力向上の推進

項目① 新しい時代に求められる資質・能力を育む教育の推進

施策（3）豊かな心を育む教育の充実

項目① 豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり

② 郷土理解教育の推進

③ 社会の変化に対応した多様な教育の推進

施策（4）健康・安全教育の推進

項目① 健康・安全教育の充実

② 学校給食の充実

施策（5）幼児教育・特別支援教育等の充実

項目① 幼児教育の支援と連携

② 特別支援教育の充実

③ 高等学校教育の充実

施策（6）教育環境の整備・充実

項目① 学習環境の充実

② 学校施設整備の推進

③ 経済的支援の充実

④ 通学支援の充実

⑤ 教職員の働き方改革の推進

分野2 社会教育の充実

施策（1）生涯を通じた多様な学習環境づくりの推進

- 項目① 多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信
- ② 「学び直し」など市民の生涯学習活動の支援

施策（2）教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動等による教育力の向上

- 項目① 教育振興運動の推進
- ② 地域学校協働活動の推進
- ③ 体験的・交流的活動の提供
- ④ 指導体制の充実

施策（3）社会教育施設的环境整備

- 項目① 公民館の整備・充実
- ② 図書館の整備・充実
- ③ シビックセンターの整備・充実

分野3 芸術文化の振興

施策（1）芸術文化の振興

- 項目① 芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援
- ② 芸術文化に親しむ機会の充実
- ③ 文化施設の整備・充実

施策（2）文化財の保護と活用

- 項目① 史跡九戸城跡の保護と活用
- ② その他の文化財の保護と活用

施策（3）郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承

- 項目① 歴史民俗資料の活用
- ② 市史編さん事業の促進

分野4 スポーツの推進

施策（1）ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- 項目① 生涯スポーツと健康づくりの推進
- ② 地域のスポーツ環境の整備
- ③ 多種・多様なスポーツ団体の育成

施策（2）体育施設的环境整備

- 項目① 体育施設の整備・充実

3 事業の点検・評価

分野 1 学校教育の充実

施策 (1) コミュニティ・スクールの導入と推進		
項目	①地域とともにある学校づくり 【教育企画課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
学校と地域が一体となった「地域とともにある学校づくり」の推進	<p>[継続]</p> <p>■学校運営協議会設置に係る支援</p> <p>■コミュニティ・スクールの実践交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの推進について理解を深めるため、教諭等へ研修に参加するよう働きかけた。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール導入校数 R3 : 11 R7 : 11 (R6達成率 100%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校すべてに学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動推進員をや地域の方々と連携を図り、地域とともにある学校づくりが進められた。 ・教諭が研修に参加し、地域とともにある学校づくりの理解を深めた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部の活動や教育振興運動の活動と連携を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール導入校数 R6 : 11 (R5実績値 11)
<P23再掲>		
施策 (2) 教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動等による教育力の向上		
項目	①教育振興運動の推進 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
家庭・学校・地域の連携を深め、家庭・地域の教育力向上に努める	<p>[継続]</p> <p>■各学校における家庭教育学級の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全実践区（全小中学校）において、家庭教育に関する幅広い内容で「家庭教育学級」を開催した。 <p>■「家庭教育の手引き」の発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生から中学校3年生までの子どもの発達段階に応じた家庭での家庭学習、生活、読書など学習環境づくりを具体的に紹介する手引きを、市内の全児童生徒の保護者に配布するとともに、ホームページに掲載した。 <p>■教育振興運動集約集会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・学校・地域・行政が取り組んでいる子どもを中心とした実践区の活動状況の発表を行った。また、親子関係のあり方や保護者の関わりに関する講演を実施した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級開催数(回) R3 : 44 R7 : 44 (R6達成率 86.3%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各実践区（各学校）が主体となり家庭教育に活かせる様々な学びの機会を提供し、教育力の向上につなげることができた。 ・「家庭教育の手引き」の配布とホームページへの掲載により、家庭教育での活用につながった。 ・実践区の発表を行うことで活動への理解を深めるとともに成果や課題を共有し子育てへの意識が高まった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も各実践区と連携しながら学びの機会を提供するとともに子どもの育つよりよい環境づくりに努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級開催数(回) R6 : 延べ38 (R5実績値 延べ34)

項目	②地域学校協働活動の推進 【生涯学習課】	
目的	令和6年度取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域学校協働活動を推進する。</p>	<p>[継続]</p> <p>■地域学校協働本部の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動統括推進員や地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民や団体と連携して事業を行うことで「学校を核とした地域づくり」を推進した。 <p>≪地域学校協働活動推進員設置校≫ 1校（仁左平小学校）</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動統括推進員1人と希望校のうち1校に地域学校協働活動推進員を配置。コミュニティスクールとの連携を図りながら、学校・家庭・地域の活性化につなげることができた。また、未配置の設置希望校と導入にむけたヒアリングを実施した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの児童生徒が様々な学びを体験できるよう、地域学校協働活動推進員の配置や各種団体と連携した活動の実施に努める。

施策 (2) 学力向上の推進						
項目		①新しい時代に求められる資質・能力を育む教育の推進 【教育企画課】				
目的		令和6年度の取組状況		評価及び今後の方向性等		
<p>児童生徒の資質・能力を育むために必要な研修を実施し、各校の教員が授業改善の方向性を明確にする</p> <p>児童生徒の資質・能力を育むために必要な事業を実施し、教員の授業力や指導力の向上を目指す</p> <p>児童生徒の資質・能力を育むため、各校が学力向上に向けた検証改善サイクルを実施し、組織的な取組を強化する</p>		<p>[継続]</p> <p>■東京学芸大学連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察研修 ・授業力向上研修 ・教員派遣研修 ・道徳授業パワーアップセミナー ・理科教員研修 ・サマースタディ <p>■教育研究所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任教職員研修会 ・学力向上委員会 ・幼小連携研修会 ・特別支援教育支援員研修会 ・公開講座 ・ICTプロジェクト会議 <p>■スクールタイアップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上ヒアリング ・研究授業訪問 ・「まなびフェスト」の作成と評価 		<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察研修では、東京学芸大学附属小金井小学校・小金井中学校を訪問し、重点である小・中の系統性を踏まえた学びについて理解を深めることができた。 ・授業力向上研修では、東京学芸大学附属小金井小学校教諭を招いて、示範授業を行い、児童生徒の資質・能力を育むための教材研究のあり方について学ぶことができた。 ・ICTプロジェクト会議では、教科書研究センターとの実証研究の一環として実施した。講義、提案授業（小学校外国語・中学校数学）を通して、児童生徒の資質・能力を育むためのデジタル教科書の効果的な活用について理解を深めることができた。 ・学力向上ヒアリングを実施し、各小中学校の学力向上に向けた検証改善サイクルを振り返り、次年度に向けた組織的な取組について協議することができた。 ・全国学力学習状況調査では小学校・中学校ともに数値目標を達成することができなかったが、岩手県学習状況調査においては、小学校・中学校ともに概ね数値目標を達成することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京学芸大学連携事業に係る研修等での参加教員の学びの成果や今後の取組について、主務者による所感や研修者の事後報告書をもとに校長会議等で周知するとともに、各所属校での授業実践や学校公開等による授業提案を通して広くその学びを市に還元できるようにしていく。 ・課題である「知識及び技能」を活用した「思考力、判断力、表現力等」の力を育成するための授業改善はどうあるべきか、学力向上ヒアリング等を通して学校への支援の在り方を考えていきたい。 		
		【数値目標の実績】				
		国語				
評価指標		学年	数値目標		実績値	
			R3	R7	R5	R6
全国学力・学習状況調査における国語の正答率の国を100とした二戸市の指標		小6	104	105	110	104
		中3	100	101	103	93
岩手県学習状況調査における国語の正答率の県を100とした二戸市の指標		小5	104	105	104	107
		中1	98	101	107	106
		中2	100	102	111	-
R6より中2国語実施なし						
算数・数学						
評価指標		学年	数値目標		実績値	
			R3	R7	R5	R6
全国学力・学習状況調査における算数・数学の正答率の国を100とした二戸市の指標		小6	101	102	107	98
		中3	95	100	100	85
岩手県学習状況調査における算数・数学の正答率の県を100とした二戸市の指標		小5	110	110	105	107
		中1	100	101	114	111
		中2	104	105	109	114

施策 (3) 豊かな心を育む教育の充実		
項目	①豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり 【教育企画課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>道徳教育について教員の指導力向上を図り、他人を思いやり良好な人間関係を築くことができる子どもを育てる</p> <p>一人ひとりに寄り添った相談・支援体制の充実を図る</p> <p>教育相談・支援体制を充実し、子どもたちが安心して学習し、学校生活を送ることができることを目指す</p>	<p>[継続]</p> <p>■道徳パワーアップセミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京学芸大学主催セミナーに、2人（福岡小・金田一小）の教員が参加した。 <p>■適応指導教室「おあしす」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒のほか、不登校傾向や登校に不安のある児童生徒に対し、学習の援助や相談等を行った。また、不適応状況報告に対する学校の対応への指導や助言を行った。 《不登校児童生徒数》 小学生15人、中学生38人 <p>■教育相談員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育相談員による学校訪問を行った。 相談件数 47件 (来所25件、電話5件、訪問17件) 教育支援センターのチラシを更新し、学校及び市内各施設に配布するほか、市ホームページに掲載し周知を図った。 <p>■学校生活アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 6～7月に実施した。 校長会議での早期対応の助言を行った。 スクールソーシャルワーカー等による学校訪問や教育相談を実施した。 <p>■校内教育支援センターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡中学校に、学校生活に不安を持つ生徒の学習する場所として、校内教育支援センターの運営を開始した。 	<p>◎評価 【 C 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に授業を参観し、子どもの問題意識から授業を作ることの大切さがわかった。また、指導の個別化と学習の個性化について学ぶことができた。 学校との連絡を密に行い、不適応児童生徒等の状況を把握し、適切な助言を行なうことができた。 欠席しがちな児童生徒や保護者、教員等からの相談に対応することができた。 児童生徒が安心して学習し、学校生活を送ることができるよう、予防的な対応や長期化する児童生徒の対応について、学校と情報を共有し、今後の対策を考えることができた。 いじめの実態を把握するとともに、いじめの内容や各校の取組を校長会で共有した。各校の意識の向上といじめの早期発見に努めることができた。 教室に入ることが難しい生徒が学習する場所の一つとして、それぞれの生徒に応じた学習・生活が送れるよう支援できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、道徳授業を参観することで、道徳教育のより一層の充実を図る。 不登校支援会議を年2回開催し、講義や各学校の好事例の共有を通して、より積極的に早期発見、早期対応できるよう支援していく。また、未然防止の観点から不登校傾向にある児童生徒の早期支援を行う。 教育相談や教育支援センターについて周知し、相談しやすい環境を整えることで、相談者の悩みを解消していく。 各校や関係機関と緊密に連携を図り、不適応児童生徒への継続した対応について支援する。 校内教育支援センターに専任の相談員を配置し、個別の学習指導や教育相談を充実させることで、学びへの意欲向上や学校生活への不安解消を図る。

分野1 学校教育の充実

目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
教育相談・支援体制を充実し、子どもたちが安心して学習し、学校生活を送ることができることを目指す (続き)	【数値目標】 ・ 道徳授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする学習活動に取り組んでいる児童生徒数の割合 (%) R3 小学校：95 中学校：95 R7 小学校：95 中学校：95 (R6達成率 94.7% 101.5%) ・ 不登校児童生徒の割合 (%) R3 小学校：0.35 中学校：2.50 R7 小学校：0.35 中学校：2.50 (R6達成率 22.3% 35.2%)	【数値目標の実績】 ・ 道徳授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする学習活動に取り組んでいる児童生徒数の割合 (%) R6 小学校：90.1 (R5実績値 93.5) 中学校：96.2 (R5実績値 96.7) ・ 不登校児童生徒の割合 (%) R6 小学校：1.57 (R5実績値 0.89) R6 中学校：7.10 (R5実績値 6.90)
項目	②郷土理解教育の推進 【教育企画課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
二戸市の先人、自然、歴史・文化等の学習を通し、郷土に対する理解を深め、愛着心や誇りを育むとともに、次代を担う人材の育成を目指す	[継続] ■複数の教科等横断的な視点に立った郷土教育 ・ 改訂した副読本「わたしたちの二戸市」を小学3、4年生に配布し、社会科授業で活用した。社会科における資質・能力の育成を図った。 ■小学5、6年生の2年間を通した小学校副読本の活用 ・ 副読本「二戸市の先人たち」を小学5年生に配布し、2年間をかけて二戸市の先人について学んだ。 ■ふるさと探訪塾事業 ・ 小学5、6年生を対象に計10回実施し、335人が参加した。 ○小学5年生 天台寺観光ボランティアガイド、滴生舎による天台寺と漆の学習 ○小学6年生 九戸城ボランティアガイドによる史跡九戸城跡の学習	◎評価 【 A 】 ・ 二戸市の地形、農業、商業、工業、公共施設等について学ぶことで、地域への関心を高めるとともに、資料を活用する力の育成につながった。 ・ 2年間で計画的に、副読本「二戸市の先人たち」を活用することで、郷土の先人に対する理解を深めることができた。 ・ ふるさと探訪塾では、実際に現地を訪れ学ぶことで、郷土の歴史や文化への理解を深め、郷土への愛着を醸成することができた。 [今後の方向性等] ・ 社会科副読本を活用し、社会科で身に付けたい資質・能力を育成するための授業を展開する。 ・ 小学校卒業時まで、副読本「二戸市の先人たち」について理解を深められるよう取り組む。 ・ ふるさと探訪塾は、引き続き、実際に現地を訪れることで、愛着心や誇りを育むとともに、郷土への理解を深め、教育を通じた人材育成を図る。

項目	③社会の変化に対応した多様な教育の推進 【教育企画課】	
目的	令和6年度取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>国際社会において、主体的、積極的に協働していくことができるよう、コミュニケーション能力の向上を図りながら、国際感覚を有する人材の育成を図る</p>	<p>[継続]</p> <p>■キャリア教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学5、6年生の2年間を通した小学校副読本の活用<P14再掲> ・ふるさと探訪塾事業<P14再掲> ・槻蔭舎きぼう塾（中学生）<P24再掲> ・ジュニア槻蔭舎きぼう塾（小学生）<P24再掲> <p>■小中学校へのALT講師の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT講師2人を配置し、市内小中学校を巡回して英語教育を支援した。 <p>■中高生海外派遣研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生10人、高校生2人の計12人を派遣し、国際感覚豊かな人材の育成を図った。 参加者 中学生10人、高校生2人 日程 令和7年1月7日～14日 場所 イギリス（ロンドン、グラスゴー） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年間で計画的に、副読本「二戸市の先人たち」を活用することで、郷土の先人に対する理解を深めることができた。<P14再掲> ・ふるさと探訪塾では、実際に現地を訪れ学ぶことで、郷土の歴史や文化への理解を深め、郷土への愛着を醸成することができた。<P14再掲> ・槻蔭舎きぼう塾では3事業を実施。それぞれの事業参加者の感想から、自身の学びや気づきが何え、郷土理解と進路実現の機会を提供することができた。<P24再掲> ・ジュニア槻蔭舎きぼう塾では、映画の上映や羽田空港を訪問し、本市出身の整備士から飛行機の仕組みについて本物の飛行機を目の当たりにしながら学び、知的関心を高め、主体的な学びや豊かな心を育む機会を提供することができた。<P24再掲> ・ALT講師と英語専科教員が連携して授業・指導を行うことで、英語教育の充実が図られた。 ・ロンドンやグラスゴーへの訪問や、ホームステイを通じ、多様な価値観や異文化を体験し、国際感覚を育むことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校卒業時まで、副読本「二戸市の先人たち」について理解を深められるよう取り組む。<P14再掲> ・ふるさと探訪塾は、引き続き、実際に現地を訪れることで、愛着心や誇りを育むとともに、郷土への理解を深め、教育を通じた人材育成を図る。<P14再掲> ・郷土の魅力を認識し、自己の成長や生まれ育った地域の発展に貢献しようとする人材の育成につながる講座の実施に努める。<P24再掲> ・ALT講師を配置し、英語専科教員と連携による英語教育の充実を図っていく。 ・中高生海外派遣研修及び中学生異文化交流事業は、事業目的を踏まえたうえで実施の在り方を検討する。

施策 (4) 健康・安全教育の推進																														
項目	①健康・安全教育の充実 【教育企画課】																													
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等																												
<p>児童生徒が健康や運動、食事に関心を持ち、健康的な生活習慣と運動習慣を身に付ける</p>	<p>[継続]</p> <p>■感染症対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭や学校と連携し、児童生徒の感染予防と感染状況の把握を行った。 <p>《学級等閉鎖件数》</p> <table border="0"> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症による閉鎖</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>季節性インフルエンザによる閉鎖</td> <td>8件</td> </tr> </table> <p>■学校保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病の早期発見、早期治療のため、内科検診、歯科検診、尿検査等、健康診断を実施した。 学校環境衛生検査の実施により、学校環境を把握し改善を図った。 学校と医療機関、行政の連携により、健康に関する指導方法の協議を行った。 二戸地区学校医連絡協議会において、医療機関、学校、各教育委員会、保健師、栄養士により構成する小委員会を設置し、二戸地区全体の肥満に関する分析とその対応を研究した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向児童生徒の割合(%) <table border="0"> <tr> <td>小4</td> <td>R3 : 13.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R7 : 11.8</td> <td>(R6達成率</td> <td>78.1%)</td> </tr> <tr> <td>中1</td> <td>R3 : 13.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R7 : 11.3</td> <td>(R6達成率</td> <td>90.4%)</td> </tr> </table>	新型コロナウイルス感染症による閉鎖	2件	季節性インフルエンザによる閉鎖	8件	小4	R3 : 13.8				R7 : 11.8	(R6達成率	78.1%)	中1	R3 : 13.3				R7 : 11.3	(R6達成率	90.4%)	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の感染予防に取り組むとともに、学校医等との連携により感染状況を見極め、学級閉鎖等の適切な対応を行ったことで、連鎖的な感染拡大を防ぐことができた。 医療機関等との連携により、地域全体で児童生徒の健康を維持・増進するための取組を実施することができた。また、肥満対策については、肥満傾向児の割合は依然高いものの、学校医の指導や、学校での運動や栄養指導等により、前年度比で小学校、中学校ともに減少した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き感染予防に配慮しつつ、教育・健康活動の充実を図る。 学校と医療機関等との連携を密にし、地域全体で健康教育の推進に努める。また、肥満対策については、学校での運動、栄養指導や各種検診を促すとともに、家庭においては、研究大会などを通じて、食生活の意識づけを図る。 学校の健診日に受診できなかった児童生徒に対し、学校医、学校歯科医等の各医療機関において個別健康診断を受けられるようにすることで、児童生徒の健康の保持増進を図る。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向児童生徒の割合(%) <table border="0"> <tr> <td>小4</td> <td>R6 : 15.1</td> <td>(R5実績値</td> <td>17.6)</td> </tr> <tr> <td>中1</td> <td>R6 : 12.5</td> <td>(R5実績値</td> <td>17.9)</td> </tr> </table>	小4	R6 : 15.1	(R5実績値	17.6)	中1	R6 : 12.5	(R5実績値	17.9)
新型コロナウイルス感染症による閉鎖	2件																													
季節性インフルエンザによる閉鎖	8件																													
小4	R3 : 13.8																													
	R7 : 11.8	(R6達成率	78.1%)																											
中1	R3 : 13.3																													
	R7 : 11.3	(R6達成率	90.4%)																											
小4	R6 : 15.1	(R5実績値	17.6)																											
中1	R6 : 12.5	(R5実績値	17.9)																											
<p>児童生徒の安全安心な学校生活の確保と安全教育を推進する</p>	<p>[継続]</p> <p>■安全教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸市通学路交通安全プログラムについて、対策箇所の解消に向け通学路の点検、確認を行った。また、保護者に対しアンケート調査を実施した。 各学校において、スクールガードによる通学路での登下校時の見守り活動や危険箇所等の見回り活動を実施した。 各学校で交通安全教室を実施し、児童生徒が自ら安全に行動できるよう交通ルールや自転車の安全運転等の指導を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全を継続的に確保するため、関係機関と連携し、対策の内容確認と対策実施後の効果把握を行い、安全確保の充実を図ることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組を継続することで、児童生徒に交通安全の意識の定着を促すとともに、通学路の安全確保のため、関係機関や地域と連携し、危険箇所や注意箇所の把握に努める。 																												

項目	②学校給食の充実 【学校給食センター】	
目的	令和6年度取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>食に関する指導のさらなる充実を図り、望ましい食習慣と健全で豊かな食生活を実践する力を習得させる</p> <p>学校給食に地場産物を使用することにより、地域の自然や文化、産業等に関する理解を深め、生産者や食材への感謝の気持ちを育む</p>	<p>[継続]</p> <p>■栄養教諭による食に関する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭における食に関する指導を実施した。 栄養教諭による食に関する指導 42回 給食訪問 22回 ・毎月配布する「二戸(にこ)食だより」や「こんだてのおしらせ」を活用し、食の正しい知識や食習慣の普及を図った。 <p>■オール二戸食材の日(年1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立に用いる食材のすべてに地場産物を利用した給食を提供した。 実施日 令和6年11月18日 献立内容 雑穀ごはん 二戸産はちみつ入り飲むヨーグルト とりにくのレモンソース 野菜のごまあえ 凍み豆腐と山菜のみそ汁 カントリーご <p>■食育の日(毎月19日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥満予防の取り組みとして、よく噛むことを意識した「かみかみ献立」を提供した。 <p>■二戸(にこ)食の日(毎月25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が郷土への関心や、自然や生産者への理解を深めるよう、地場産物や郷土料理を取り入れた献立を提供した。 <p>■地場産物の活用(市農林課連携事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市農林課から、市内産食材購入費用の一部補助や、市内産食材の紹介を受けるなど、連携し地産地消に取り組んだ。 <p>■物価高騰への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰に対応するため、食材の選定や献立の工夫等を行いながら、栄養基準を満たし質を維持した給食の提供に努めた。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による食に関する指導や肥満に関する個別面談を通し、児童生徒や保護者に正しい食事の知識や食習慣について理解を深めることができた。 ・各取組により、地産地消の推進、地域の豊かな食材を通じた生産者への感謝の気持ちや郷土への理解を深めることができた。 ・物価高騰に対応しながら、食材の選定や献立の工夫等を行い、栄養基準を満たし質を維持した給食を提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、食に関する指導の充実を図るとともに、「二戸(にこ)食だより」や「こんだてのおしらせ」を活用し、生産者の紹介などを通して地産地消の意義を学び、食に関する正しい知識と食習慣の普及に努める。 ・令和6年度より学校給食費の段階的な改定を実施しており、保護者に対して適切な時期に周知を図っていく。

施策 (5) 幼児教育・特別支援教育等の充実		
項目 ①幼児教育の支援と連携【教育企画課】		
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>関係部局と連携を図り、幼児及びその保護者に対する相談や支援を充実する</p> <p>小学校生活へ円滑に適應できるよう、情報共有と相互理解が図られる体制を構築する</p>	<p>[継続]</p> <p>■幼小連携推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳児発達相談へ教育相談員を派遣し、保護者向けの就学に関する説明を行った。 対象者数(幼児数) 116人 社会福祉協議会「早期発達相談」や発達支援センター「風」へ職員を派遣し、「就学に向けて」の講義を行った。 <p>■幼小連携研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼小連携研修会の在り方について協議し、二戸市接続カリキュラムの周知を行った。 認定こども園において、保育参観を実施した。 小学校生活への円滑な接続のため、幼児連絡票を就学時健診に活用した。 	<p>◎評価【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者に対し、教育相談員からの説明を実施することで、就学に向けた意識を醸成するとともに、子どもへの関わり方についての理解を深めることができた。 早期発達相談や発達支援センターでの学習会で就学に向けての講義を行ったことにより、就学相談につなげることができた。 幼小連携研修会では、子どもに付けたい力を確認し、二戸市接続カリキュラムをもとにした協議を行うことができた。 認定こども園の保育参観を実施し、指導や支援のつながりを意識した指導の在り方を学ぶことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園や保育所等で開催される学習会等があれば、職員の派遣を行う。 「幼児教育」「小学校教育」相互に活動場面や実際の授業の参観を通して「学びの進め方の違い」についての理解を更に深め、二戸市の接続カリキュラムの改善につなげる。 県の「いわて幼児教育センター」と連携を図り、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に努める。
項目 ②特別支援教育の充実【教育企画課】		
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>特別な支援を要する児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、支援員を配置し、体制の充実を図る</p> <p>児童生徒の状況に応じた学習環境の整備やきめ細やかな支援の在り方の検討を通して、支援の充実を図る</p>	<p>[継続]</p> <p>■特別支援教育支援員の学校への配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員17人を市内小中学校7校に配置し、特別な支援を要する児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行った。 <p>■教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を要する児童生徒一人ひとりについて、望ましい学習環境や支援の在り方を検討するために年3回開催した。 各学校で実際に指導に当たる特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任からなる「教育支援委員会実務者会議」を開催し、児童生徒の情報を収集するとともに、支援の方向性について検討した。 <p>■認定こども園、保育所等への就学前の訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当者が市内の認定こども園、保育所、関係施設を訪問し、就学支援に向けた参観と情報交換を行った。(保育所3か所、こども園4か所、発達支援センター「風」、はまなす医療療育センターを訪問) 	<p>◎評価【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒個々の状況に応じた支援を行うことで、学習活動等、安心した学校活動につながった。 就学予定児に対して、関係機関や専門委員との連携により、早い時期からの相談を実施したことで、望ましい就学先を決定することができた。 教育支援委員会実務者会議を実施したことで、増加している対象児童生徒について、よりよい教育支援につなげることができた。 担当者が園を訪問することにより、スムーズな就学支援や引継ぎを行うことができた。希望した小学校長の訪問もあり、入学後の支援について、園と小学校の情報を共有をすることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な支援の実施と円滑な就学支援や学級運営のために、これまでの取組を継続することで、児童生徒及び学校の状況把握に努める。

③高等学校教育の充実 【教育企画課】								
項目	令和6年度の実績	評価及び今後の方向性等						
生徒から選ばれる魅力ある学校づくりのための市内高等学校等との連携	<p>[継続]</p> <p>■市内高等学校の魅力化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへによる市内高校特集の連載 ・市内全中学生への高校特集ページのデータ配付 ・学校パンフレット、ポスター作成等への補助 ・岩手県に対する要望活動 ・市内高等学校通学費補助(内訳) <table border="0"> <tr> <td>福岡高等学校</td> <td>56人</td> <td>3,778千円</td> </tr> <tr> <td>北桜高等学校(工業科)</td> <td>41人</td> <td>2,018千円</td> </tr> </table>	福岡高等学校	56人	3,778千円	北桜高等学校(工業科)	41人	2,018千円	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高等学校や関係者と連携し、生徒から選ばれる学校づくりを支援することができた。また、通学費補助を行うことで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高等学校の魅力を高める取り組みについて支援を行い、入学者の増加につなげる。
福岡高等学校	56人	3,778千円						
北桜高等学校(工業科)	41人	2,018千円						

施策 (6) 教育環境の整備・充実		
項目 ① 学習環境の充実 【教育企画課・図書館】		
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
教育の情報化に対応した情報活用能力の育成を目指した学習活動の推進	<p>[継続]</p> <p>■GIGAスクール推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTプロジェクト会議の開催<P10再掲> ・学校の通信ネットワークの調査 ・小学校教員等の校務用パソコンの更新 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTプロジェクト会議では、教科書研究センターとの実証研究の一環として実施した。講義、提案授業（小学校外国語・中学校数学）を通して、児童生徒の資質・能力を育むためのデジタル教科書の効果的な活用について理解を深めることができた。<P12再掲> ・タブレット更新に向け、学校のネットワーク環境の現状を把握することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの資質、能力を育成するため、教員がどのようにICTの活用するのか、情報交換や授業の実践を通して理解を深める。 ・整備したICT機器を活用するための研修を継続して実施するとともに、次期端末の更新に向けネットワーク環境の改善等を進める。
幼児期から本に親しむ機会や環境を整えることで、読書意欲の向上及び読書習慣の定着を図る	<p>[継続]</p> <p>■図書に親しむまち推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート（10か月児）乳児90人に絵本を贈呈した。 ・おはなしデビュー（3歳児）幼児110人に絵本を贈呈した。 ・市内全小中学生に、希望する図書を贈呈した。（小965冊、中546冊 計1,511冊） ・学校図書館支援員（1人）の配置により、各小中学校の巡回訪問を行い、蔵書の管理、図書室の環境整備の支援等を実施した。 ・児童生徒が新聞に親しむ機会を提供するとともに、授業でも活用できるよう、過去の記事も検索可能なオンライン版新聞記事「プラス日報」を継続した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを対象とした読み聞かせのイベントのほか、出産を控えた親を対象にした読み聞かせ講座を行い、読書や読み聞かせの魅力を伝え、読書習慣の定着を図った。 ・児童生徒へ図書の贈呈を行うことで本を読む機会を提供できた。 ・学校図書館支援員の配置により、学校図書室の環境整備が図られた。 ・タブレットの活用により、手軽に新聞にふれることで、社会の動きや時事問題などへの関心を高めることができた。また、授業内容の補完や朝学習、震災・復興学習などに活用し、学びの充実が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭課が実施する産前産後サポート事業にハピママ・ファーストブックを組み入れて、対象者の参加を促していく。また、事業内容の整理を行い発達段階に合わせ途切れない読書の推進を図る。 ・児童生徒が新聞に親しむ機会を提供するとともに、授業での活用を図るよう取り組む。
教育備品等の整備により授業の効率化を図り、児童生徒の確かな学力を育成する	<p>[継続]</p> <p>■小中学校教材備品整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、国庫補助事業を活用し、理科の教材備品の整備を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科設備の教材備品を整備することで、指導内容や観察、実験等、理科の教育活動の充実が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科教育の充実を図るため、国庫補助事業を活用し、理科等教育等設備の整備を図る。

②学校施設整備の推進 【教育企画課】		
項目	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
目的 計画的な改修により施設の安全確保と長寿命化を図る	[継続] ■小中学校リフレッシュ事業 ・中央小学校プールろ過機循環配管更新工事 ・仁左平小学校照明LED化改修工事 ・二戸西小学校照明LED化改修工事 ・御返地小学校照明LED化改修工事 ・福岡中学校防火設備改修工事	◎評価 【 A 】 ・改修工事等を計画どおりに実施し、児童生徒の安全かつ快適な教育環境を確保することができた。 [今後の方向性等] ・計画的な改修に努める。
③経済的支援の充実 【教育企画課】		
項目	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
目的 経済的理由による教育の格差が生じないよう、就学支援や育英資金制度により教育の機会均等を確保する	[継続] ■就学支援 ・要保護及び準要保護児童生徒（267人・17.9%）の保護者に対して就学に必要な経費の一部を援助した。 ・随時、申請を受け付け、必要な援助を受けられる環境を整えた。 ・令和7年度新入学児童生徒への学用品費の入学前支給を実施した。	◎評価 【 A 】 ・援助が必要と認められる児童生徒の保護者に対し適切に援助を行い、経済的負担軽減と教育の機会均等の確保につなげることができた。 [今後の方向性等] ・学校と連携し、保護者へ制度の周知を図りながら、適切に支援を行う。
目的 経済的理由により修学が困難な者に対して、修学の機会を確保する	[継続] ■育英資金貸与事業 ・高校4人、大学等33人、計37人に貸与した。 ・就業者に対する返還の免除件数 市内に住所を有し、市内で就業する者 11件 市内に住所を有し、市外で就業する者 3件	◎評価 【 A 】 ・支援が必要と認められる修学者に対して、学びの機会を確保することができた。 ・返還免除制度を実施することで、市内への就業や定住の促進につながった。 [今後の方向性等] ・貸与希望者に対する円滑な貸与を行う。また、返還免除制度を周知し、貸与生の定住化を促進する。
④通学支援の充実 【教育企画課】		
項目	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
目的 遠隔地から通学する児童生徒の保護者に対し、スクールバス等の運行や通学費の補助をすることで、経済的負担の軽減を図る	[継続] ■遠距離通学者への支援の充実 ・児童生徒を輸送するスクールバス等を運行した。 ・公共交通機関を利用する遠距離通学者等への補助を実施した。	◎評価 【 A 】 ・遠距離通学等の児童生徒の保護者に対し必要な支援をし、負担軽減につなげることができた。 [今後の方向性等] ・スクールバスの運行及び通学費補助を継続する。また、スクールバスの更新を計画的に行う。
⑤教職員の働き方改革の推進 【教育企画課】		
項目	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
目的 教育の質の向上を図るため、教職員が働きやすい環境を整備し、心身ともに健康を維持できる安全衛生管理に取り組む	[継続] ■働き方改革の推進 ・「二戸市教職員働き方改革プラン」に基づき、勤怠管理システムによる教職員の勤務時間の適正管理と業務の改善に取り組んだ。 ・時間外勤務が80時間/月以上の教職員に対する産業医による保健指導を実施した。 指導件数 2件 ・中学校部活動運営方針に基づき部活動を実施した。	◎評価 【 A 】 ・プランに掲げる各種の取組みを行い、小学校、中学校において目標を達成した。 ≪1月当たり平均時間外勤務≫ 小学校 33時間30分 前年比 8.9%減 中学校 39時間16分 前年比14.5%減 [今後の方向性等] ・部活動指導員の配置を継続するとともに、拠点校方式を進めることで、生徒の活動機会の確保と教職員の負担軽減を図っていく。 ・二戸市教職員働き方改革プラン（R5～R7）を改訂（R8～R10）し、取組みの推進を図る。

分野2 社会教育の充実

施策 (1) 生涯を通じた多様な学習環境づくりの推進		
項目	①多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
生涯学習情報の収集及び提供による生涯学習の普及啓発	<p>[継続]</p> <p>■生涯学習の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへやホームページ、カシオペアFMを活用し、各種講座等について情報提供した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数媒体による情報提供により市民の講座への参加を促し、生涯学習の普及啓発を図ることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ホームページやカシオペアFMなど多様なメディアを活用した生涯学習の普及啓発に努める。
項目	②「学び直し」など市民の生涯学習活動の支援 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
放送大学岩手学習センター二戸校の周知や利用環境の整備を図り、市民が気軽に立ち寄れる学習拠点としての活用	<p>[継続]</p> <p>■放送大学岩手学習センター二戸校の周知・環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへや入学生募集や大学説明会の案内を2回掲載したほか、ホームページやカシオペアFMにより周知した。 ・DVDやCDで視聴できる外国語科目の充実に努めた。 二戸校利用者数 延べ32人 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへやポスター掲示等を通じて情報発信したことにより、昨年度に比べ一般の利用回数が増加するなど、利用促進につながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへやホームページなど複数媒体による周知を継続し、認知度の向上に努めるとともに多様な科目を配架し、利用者の関心を高めるよう努める。
生涯にわたり、幅広く学習できるよう各種講座の充実と社会の変化に対応した学習機会の提供	<p>[継続]</p> <p>■多様な学習ニーズに応える講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへや、カシオペアFM、SNSなどを活用し、講座や教室の周知を図った。 ・各年代（少年、一般、高齢者）に応じた講座や教室を実施した。 高齢者のための講演会 168人 大人の社会科見学 13人 書き初め大会 41人 ヨガ教室 27人 コミュニティセンター講座 98回 1,757人 《コミュニティセンター別内訳》 二戸中央コミュニティセンター56回 861人 金田一コミュニティセンター 36回 753人 浄法寺カシオペアセンター 6回 143人 ・文化祭の実施と各種サークルへの支援を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な知識や技能の習得、教養を身につける学習機会の提供により、幅広い世代の学びにつながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学習ニーズの把握に努め、市民が受講しやすい環境整備に努めるほか、豊かな地域コミュニティづくりに資するよう、住民相互や幅広い世代が交流できる事業を展開する。 ・市民の創作活動を披露する場を提供しながら、文化芸術に親しむ場の整備に努める。
次世代の育成や地域課題に取り組む社会教育団体へ支援を行い、地域の社会教育活動の推進につなげる	<p>[継続]</p> <p>■社会教育団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動した2団体に対し補助金を交付した。 浄法寺ユネスコ協会 二戸市PTA連合会 ・活動に対する相談などへ対応した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育団体への補助金交付により、地域の社会教育活動を支援することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育団体の活動状況把握に努めるとともに、継続して支援を行う。

施策 (2) 教育振興運動を基盤とした地域学校協働活動等による教育力の向上		
項目	①教育振興運動の推進 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
家庭・学校・地域の連携を深め、家庭・地域の教育力向上に努める	<p>[継続]</p> <p>■各学校における家庭教育学級の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 全実践区（全小中学校）において、家庭教育に関する幅広い内容で「家庭教育学級」を開催した。 <p>■「家庭教育の手引き」の発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校1年生から中学校3年生までの子どもの発達段階に応じた家庭での家庭学習、生活、読書など学習環境づくりを具体的に紹介する手引きを、市内の全児童生徒の保護者に配布するとともに、ホームページに掲載した。 <p>■教育振興運動集約集会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭・学校・地域・行政が取り組んでいる子どもを中心とした実践区の活動状況の発表を行った。また、親子関係のあり方や保護者の関わりに関する講演を実施した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級開催数(回) R3：44 R7：44 (R6達成率 86.3%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各実践区（各学校）が主体となり家庭教育に活かせる様々な学びの機会を提供し、教育力の向上につなげることができた。 「家庭教育の手引き」の配布とホームページへの掲載により、家庭教育での活用につながった。 実践区の発表を行うことで活動への理解を深めるとともに成果や課題を共有し子育てへの意識が高まった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も各実践区と連携しながら学びの機会を提供するとともに子どもの育つよりよい環境づくりに努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級開催数(回) R6：延べ38 (R5実績値 延べ34)
項目	②地域学校協働活動の推進 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域学校協働活動を推進する。	<p>[継続]</p> <p>■地域学校協働本部の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動統括推進員や地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民や団体と連携して事業を行うことで「学校を核とした地域づくり」を推進した。 <p>≪地域学校協働活動推進員設置校≫ 1校（仁左平小学校）</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動統括推進員1人と希望校のうち1校に地域学校協働活動推進員を配置。コミュニティスクールとの連携を図りながら、学校・家庭・地域の活性化につなげることができた。また、未配置の設置希望校と導入にむけたヒアリングを実施した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの児童生徒が様々な学びを体験できるよう、地域学校協働活動推進員の配置や各種団体と連携した活動の実施に努める。
<P10再掲>		
項目	①地域とともにある学校づくり 【教育企画課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
学校と地域が一体となった「地域とともにある学校づくり」の推進	<p>[継続]</p> <p>■学校運営協議会設置に係る支援</p> <p>■コミュニティ・スクールの実践交流</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの推進について理解を深めるため、教諭等へ研修に参加するよう働きかけた。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクール導入校数 R3：11 R7：11 (R6達成率 100%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校すべてに学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動推進員をや地域の方々と連携を図り、地域とともにある学校づくりが進められた。 教諭が研修に参加し、地域とともにある学校づくりの理解を深めた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地域学校協働活動推進員をや地域の方々と連携を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクール導入校数 R6：11 (R5実績値 11)

項目	③体験的・交流的活動の提供 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>将来を見据え、大きな志を持って自己実現と社会貢献を目指す青少年の育成</p>	<p>[継続]</p> <p>■槻蔭舎きぼう塾事業（対象：中学生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問やキャリア教育、全体講演会など、3講座を実施した。 ○大学訪問「大学探訪in岩手県立大学」 内 容 ミニ講義、キャンパスツアー等 参加者 10人 ○キャリア教育「このへカンパニーツアー」 内 容 事業者訪問（2か所） 参加者 6人 ○全体講演会「わたなべちひろコンサート」 内 容 演奏会、講演、手話実演 出 演 シンガー わたなべちひろ氏 手話アーティスト 橋本 一郎氏 参加者 680人（市内全中学生、教育関係者、一般） <p>■ジュニア槻蔭舎きぼう塾（対象：小学生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○映画上映会「世界の果ての通学路」 参加者 552人（市内小学4～6年生） ○体験学習 内 容 JALスカイミュージアム、羽田空港格納庫見学 参加者 12人 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槻蔭舎きぼう塾では3事業を実施。それぞれの事業参加者の感想から、自身の学びや気づきが何え、郷土理解と進路実現の機会を提供することができた。 ・ジュニア槻蔭舎きぼう塾では、映画の上映や羽田空港を訪問し、本市出身の整備士から飛行機の仕組みについて本物の飛行機を目の当たりにしながら学び、知的関心を高め、主体的な学びや豊かな心を育む機会を提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の魅力を認識し、自己の成長や生まれ育った地域の発展に貢献しようとする人材の育成につながる講座の実施に努める。
<p>子どもたちが安心して活動できる場の確保と、日常の中で多くの人と関わり、体験的・交流的活動を行う機会を提供する</p>	<p>[継続]</p> <p>■放課後子ども教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室を市内6か所で延べ992日開設し、延べ12,766人が利用した。（申込者数 206人） ・中央小学校の「みなわ子ども教室」と二戸西小学校の「斗米地域子ども教室」は、児童クラブとの一体型として実施した。 ・夏季休暇に体験学習を実施した。 ・児童クラブとの合同体験イベントを各小学校区で実施した。（計8回） ・指導者対象の研修会を1回開催した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験・交流イベントの参加児童満足度（%） R3：90 R7：90（R6達成率 108.3%） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安全で自主的な活動ができる居場所として、地域の方々や学校と連携しながら放課後子ども教室を開設・運営し、日常的に学年などを越えた交流や学習・スポーツ体験の機会を提供することができた。 ・申込者が教室に満足している割合は75.0%であり、子どもが安心して活動できる場が概ね構築できていることを確認できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域の方々の参画を得ながら学校と連携し、幅広い体験・交流活動ができる場の確保に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験・交流イベントの参加児童満足度（%） R6：97.5（R5実績値 96）

項目	④指導体制の充実 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
社会教育事業の推進を図るための専門職員配置及び、社会教育に関わる職員の資質向上	<p>[継続]</p> <p>■専門職員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育指導員を配置し、コミュニティセンター講座をはじめ、教育振興運動、地域学校協働活動などへの指導助言を行った。 <p>■各種研修や大会等への社会教育関係者の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育に関わる研修案内を行い、学校関係者、社会教育、家庭教育関係者、職員等に各種研修への参加を促した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立生涯学習推進センター研修参加者数(人) R3 : 27 R7 : 30 (R6達成率 116%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立生涯学習推進センターのほか、県北教育事務所や県社会教育連絡協議会等関係機関の研修会に参加し、知識の習得や資質向上が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育に関する専門的助言及び指導を行うため、専門職員の資質向上に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立生涯学習推進センター研修参加者数(人) R6 : 35 (R5実績値 42)

施策 (3) 社会教育施設の環境整備		
項目	①公民館の整備・充実 【公民館】 ※公民館からコミュニティセンターへ移行	
項目	②図書館の整備・充実 【図書館】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
市民の学習活動の支援及び学校と連携した読書活動の充実を図る 適切な施設の維持管理を行い利用環境を整える	<p>[継続]</p> <p>■学校と連携した学習活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館見学受入 市内小学校5校 ・ブックツアー受入 市内小学校2校(4回) ・職場体験 市内中学校2人 ・移動図書館車での定期巡回の実施 ・学校への参考図書の貸出(随時) ・こども司書講座の実施 ・参加型企画展示 市内小学校1校 <p>■施設の計画的改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場内柵蓋修繕 ・冷温水発生機冷却ファン修繕 ・非常用照明設備修繕 ・天井内漏水修繕 ・火災報知設備修繕 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数(冊) 市立図書館 R3: 91,500 R7: 92,000 (R6達成率 85.8%) カシオペアセンター図書室 R3: 5,400 R7: 5,500 (R6達成率 84.4%) 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックツアーや図書館見学は、児童が図書館を知るきっかけとなり、たくさんの本に触れ、図書館の魅力を伝えることができた。 ・参加型企画展示を市内1小学校と連携して行い本への関心を高めることができた。 ・館内主催のPOPコンテストでは、3校で校内での取り組みがあり、学校と連携した推進活動となった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して学校と連携を持ちながら、魅力ある企画の実施と児童参加型の企画を取り入れ、児童の興味関心を高め、読書活動の推進を図る。 ・市民のニーズに対応した蔵書の充実に努める。 ・施設設備等の計画的な更新と修繕により、利用環境を整える。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数(冊) 市立図書館 R6: 78,890 (R5実績値 79,432) カシオペアセンター図書室 R6: 4,644 (R5実績値 5,115)
項目	③シビックセンターの整備・充実 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
指定管理者と連携し、科学技術や芸術作品に市民が気軽に触れる機会の拡充に努める	<p>[継続]</p> <p>■幅広い内容の企画・展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術作品等に触れる機会を創出するため、市内小学校の美術作品の展示をはじめ、多様な展示やイベントを行った。 <p>小さな美術館 JAXA宇宙飛行士古川聡の国際宇宙ステーション長期滞在ミッション報告会パブリックビューイングGWイベント、開館記念イベント、新春イベント、長期休暇イベント星空さんぽ 福田繁雄デザイン館企画展(特別企画展、没後企画展I、II) 福岡高校理科研究部サイエンスショー、福岡中学校科学部サイエンスショー</p> <p>■施設の計画的改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検を行い、修繕等を行うことで環境整備を図った。 ホール音響設備改修工事 給水ポンプ制御盤交換修繕 外部螺旋階段屋根ガラス修繕 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学技術や芸術作品に触れる機会を創出したことで、より気軽に楽しめる空間を提供できた。 ・施設の改修等環境整備を行い、適切な整備を図ることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各階の特性を活かした各種展示や新規事業を実施し、引き続き、市民が気軽に作品や科学に触れる機会の拡充に努める。 ・施設点検を実施し、施設の改修を進める。

分野3 芸術文化の振興

施策 (1) 芸術文化の振興		
項目	①芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援	【生涯学習課・文化財課】
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
地域の芸術文化の継承と活動団体の育成支援	<p>[継続]</p> <p>■芸術文化団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化団体の活動に対し補助金を交付した。 二戸市芸術文化協会 浄法寺町芸能協会 二戸市民文士劇実行委員会 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付により、各支援団体の自主的な芸術文化活動の支援につながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体となった芸術文化活動の継続支援に努める。
市民の芸術文化活動の発表の場とした文化祭の開催	<p>[継続]</p> <p>■二戸市文化祭の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市文化祭の開催について2団体へ委託した。 二戸会場：二戸芸術文化協会 浄法寺会場：浄法寺地区文化祭実行委員会 <p>《舞台公演》 吹奏楽・合唱・演劇・総合フェスティバルを実施した。</p> <p>《展示部門》 市内7会場（市民文化会館、なにゃーと、二戸中央コミュニティセンター、堀野生きいき交流センター、浄法寺文化交流センター、金田一コミュニティセンター、下米沢交流センター）で開催した。 入場者数：4,260人（対前年比457人減）</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の入場者数(人) R3：4,300 R7：4,300（R6達成率 99%） 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文化の継承や市民が自主的に文化芸術活動に親しむための活動発表の場を提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代をはじめ幅広い年代の市民が芸術文化に親しみ体験、発表する機会の提供に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の入場者数(人) R6：4,260（R5実績値4,717）
市民の芸術文化活動の情報発信	<p>[継続]</p> <p>■芸術文化関連の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化会館や浄法寺文化交流センターにおいて開催する芸術文化活動をはじめ、各団体による展覧会等について、広報にのへやホームページ、カシオペアFMにより情報発信を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報にのへ等により芸術文化活動や展覧会等について周知を行うことで、市民に対し広く情報提供することができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽に芸術文化に参加できるよう複数媒体を活用した情報提供に努める。

分野3 芸術文化の振興

目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>郷土芸能団体の保存継承に努め、活動の活性化を図る</p>	<p>[継続]</p> <p>■郷土芸能保存団体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 市指定無形民俗文化財（民俗芸能）17団体のうち、活動をしている10団体に対し育成補助金を交付した。 <p>呑香稲荷神社神代神楽保存会 下斗米山伏神楽保存会 武内神社神楽保存会 坂本七ツ物保存会 金田一神楽保存会 深山神社神楽保存会 駒ヶ嶺新山神楽保存会 浄法寺七ツ物保存会 浄法寺鹿踊り保存会 似鳥神楽保存会</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財愛護少年団育成補助金を交付した。 下斗米文化財愛護少年団 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗芸能活動団体数（団体） R3：12 R7：12（R6達成率 100%） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの団体が後継者不足や財政的な課題がある中、補助金の交付により活動を支援することができた。 市郷土芸能祭等や各保存団体においては、地元の神社、学校等で郷土芸能活動を実施した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き財政的支援を行い、郷土芸能祭の開催支援などと併せて、郷土芸能について市民への周知を図る。 後継者の確保など各団体が抱える課題について、連絡協議会などの場で協議検討を行い課題解決へつなげる。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗芸能活動団体数（団体） R6：12（R5実績値 12）
<p>郷土芸能祭の開催を支援し、郷土芸能活動の活性化を図る</p>	<p>[継続]</p> <p>■二戸市郷土芸能祭の開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸市郷土芸能祭 9 団体が出演 参加者 300人 二戸地区郷土芸能発表会 二戸市ナニヤトヤラ保存会が参加 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸市郷土芸能祭をとおして広く郷土芸能を理解してもらう機会となった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土芸能祭の開催支援や各種イベント出演情報の提供を行う。

項目	②芸術文化に親しむ機会の充実 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するため、舞台や音楽などの鑑賞事業を開催	<p>[継続]</p> <p>■芸術鑑賞事業の実施 ≪自主文化事業の開催≫ ・小中学生を対象とした映画鑑賞（学校鑑賞事業）や一般等を対象とした演劇、コンサートを実施した。</p> <p>・浄法寺文化交流センターでは、一般を対象とした吹奏楽団・合唱団のジョイントコンサートや民謡発表会を実施した。</p> <p>【数値目標】 ・芸術鑑賞事業入場者数(人) R3：6,300 R7：5,900（R6達成率 136.2%）</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>・バラエティに富んだ自主文化事業を実施したことにより、芸術文化に親しむ機会を提供することができた。</p> <p>[今後の方向性等] ・子どもから大人まで、市民が優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供に努める。</p> <p>【数値目標の実績】 ・芸術鑑賞事業入場者数(人) R6：8,036（R5実績値 8,937）</p>
芸術文化に触れる機会と展示会などの発表の場を提供	<p>[継続]</p> <p>■芸術文化の発表の場の提供 ・芸術文化活動の発表の場として、文化会館のエントランスやシビックセンターの市民ホールを展示に活用できる案内や市民参加型事業の紹介を行った。</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>・市内芸術文化団体へ芸術文化の発表の場の提供を行うことができた。</p> <p>[今後の方向性等] ・気軽に芸術文化に親しみ参加できる機会の創出を図りながら、市民の芸術文化活動の発表の場の提供に努める。</p>
項目	③文化施設の整備・充実 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
芸術文化の拠点施設の維持管理	<p>[継続]</p> <p>■市民文化会館リフレッシュ事業 ・溶解栓取付及び熱交換器等漏水修繕（ボイラー腐食及び摩耗関係修繕） ・中ホール系AC・5電動二方弁交換修繕（空調設備摩耗修繕） ・厨房排気ダクト清掃修繕</p> <p>■浄法寺文化交流センターリフレッシュ事業 ・冷温水発生機修繕工事 ・観覧装置（移動客席）修繕工事 ・舞台装置修繕工事</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>・計画に基づき改修工事や修繕を実施したことにより、利用者の安全性を確保できた。</p> <p>[今後の方向性等] ・特殊建築物定期検査及び施設の改修を進め、利用しやすい環境づくりに努める。</p>
魅力ある自主事業の開催、芸術文化に対する多様なニーズの把握と情報発信	<p>[継続]</p> <p>■魅力ある自主事業の開催と情報発信 ・市民が気軽に参加し、芸術文化に親しむことができる市民参加型事業を開催した。また、広報への活用し、催事について情報発信した。</p> <p>スプリングフェスティバル 舞台裏探検ツアー ニューイヤーミュージカルフェスティバル わくわくピアノコンサート つるし雛まつり展 ふるさと民謡舞踊春まつり</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>・市民が芸術文化事業に気軽に参加する機会を提供することができた。</p> <p>・広報へのへやカシオペアFMなどの複数媒体を活用し情報発信することにより、市民の参加を促すことができた。</p> <p>[今後の方向性等] ・参加者からのアンケートを参考に更に魅力的な自主事業を開催する。</p>

施策 (2) 文化財の保護と活用		
項目 ①史跡九戸城跡の保護と活用 【文化財課】		
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
史跡九戸城跡指定地の公有化	<p>[継続]</p> <p>■史跡九戸城跡土地買上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡の公有化対象地1筆(993㎡)の公有化を実施した。 公有化計画総面積 200,810.18㎡ 公有化済面積 187,014.14㎡ 公有化率 93.13% 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に予定していた公有化をすべて完了した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 追加指定された在府小路地区も含め、公有化対象地の地権者の意向確認し、計画的に買上を進める。
史跡九戸城跡の歴史公園整備	<p>[継続]</p> <p>■史跡九戸城跡環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡の第2期整備実施設計(二の丸大手地区)を策定した。 二の丸地区の整備工事を実施した。 整備指導委員会を2回開催した。 《協議内容》 第2期整備実施設計 発掘調査の検討(石沢館) <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡第2期整備事業進捗率(%) R3:18 R7:100 (R6達成率 71.0%) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施設計、整備工事は完了した。 整備指導委員会を開催し、適切な史跡の保存、活用の方向性を確認した。併せて、石沢館から発見された福岡城時代の慶長年頃に構築された石垣についても今後の方向性の整理を行った。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2次整備基本計画に基づき、整備指導委員会の指導のもと、計画的に史跡整備を進めていく。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡第2期整備事業進捗率(%) R6:71 (R5実績値 59)
史跡九戸城跡の保護、活用	<p>[継続]</p> <p>■史跡九戸城跡保護活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部「御城印」プロジェクトに伴う御城印を販売した。 九戸城を活かす会へ補助金を交付した。 <p>■九戸城情報発信・活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡パンフレットの増刷等により、情報発信を行った。 <p>■史跡施設等維持管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元町内会等の協力を得て、九戸城跡等の適切な維持管理に努めた。 史跡九戸城跡維持管理業務委託 九戸城跡ガイドハウス窓口業務委託 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡年間来訪者数(人) R3:8,500 R7:8,500 (R6達成率 70.2%) 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットの配布、御城印の販売、続日本100名城スタンプなどにより、九戸城跡の認知度は向上し、九戸城跡への来訪者数は増加した。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、環境整備事業と併せて適切な保存、活用に努め、九戸城跡の認知度の向上に努める。 整備範囲や史跡範囲が拡大した史跡九戸城跡の基本的な保護方針を明確にするため、保存活用計画の策定を検討する。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡九戸城跡年間来訪者数(人) R6:5,968 (R5実績値 5,779)

項目	②その他の文化財の保護と活用 【文化財課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
文化財等の保護・活用	<p>[継続]</p> <p>■文化財保護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸市文化財調査委員会議の開催（2回） ・「折爪岳のヒメボタル生息地」保存活用計画の策定検討 ・指定文化財管理補助金の交付 ・二戸市指定文化財等補助金交付（1件） （伝薬師如来座像） ・県市指定有形文化財の指定（1件） （二戸金田一・浄法寺の子安信仰資料と助産具） 令和6年11月19日県報告示 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財調査委員会議を開催したほか、指定候補文化財調査を実施し、適切に文化財の保護、活用を図った。 ・市指定文化財1件の修理に対し補助金を交付し文化財の保存を図った。 ・県指定文化財1件を受けた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「折爪岳のヒメボタル生息地」保存活用計画策定を進め、二戸市、軽米町、九戸村及び各教育委員会等とともに適切な保護に努める。 ・市指定文化財と指定候補案件の調査を引き続き実施し、今後は未指定文化財の調査も計画する。
埋蔵文化財包蔵地の保護	<p>[継続]</p> <p>■埋蔵文化財発掘調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡発掘調査事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○個人住宅 在府小路遺跡 3件 ○史跡調査 史跡九戸城跡（石沢館） 1件 ○民間開発 大川原毛遺跡 1件 ○公共事業 晴山遺跡（上里遺跡群） 枋ノ木遺跡、雨滝遺跡 計3件 ○現地説明会 史跡九戸城跡 27人 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑かつ適切に発掘調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の記録保存を行うことができた。 ・現地説明会を開催し、発掘調査及び遺跡の価値等について、理解度を深めることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も適切な調査に努め、現地説明会等を引き続き実施する。
文化財保護の普及	<p>[継続]</p> <p>■埋蔵文化財保存活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習の開催 <ul style="list-style-type: none"> 「古代のアクセサリーづくり」参加者8人（5組） 「甲冑着用体験」参加者7人（3組） ・スポット展示の開催 <ul style="list-style-type: none"> 「史跡九戸城跡からのメッセージ」 ・発掘調査報告会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 講演 「史跡三戸城跡の調査成果」 報告 史跡九戸城跡、雨滝遺跡、大川原毛遺跡、在府小路遺跡、枋ノ木遺跡 参加者 55人 ・史跡九戸城跡フィールドワーク <ul style="list-style-type: none"> 城郭研究家 神山仁が案内する九戸城散第2幕 参加者 40人 ・史跡九戸城跡等紹介教材作成業務 ・史跡九戸城跡及び市内に点在する地域の城館を紹介するDVDを作成した。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センター入館者数(人) R3：1,000 R7：1,000（R6達成率 175.7%） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習を通じて、参加者に埋蔵文化財について理解を深めることができた。 ・スポット展示を実施することにより、発掘調査成果を市民に対して効果的に公開することができた。 ・フィールドワークを開催し、地域の歴史の理解を深めることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告会の開催、体験学習の企画、企画展の開催など埋蔵文化財の活用を推進する。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センター入館者数(人) R6：1,757（R5実績値 1,613）

施策 (3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承		
項目	①歴史民俗資料の活用 【文化財課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
歴史民俗資料の収集、保存、調査	<p>[継続]</p> <p>■歴史民俗資料の収集、調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 民俗資料等の収集、調査研究、各種照会への対応を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貴重な民俗資料を収集し、調査研究を進めることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民等に郷土史の理解を深めてもらうため、引き続き民俗資料等の収集と調査、研究を進めるとともに、収蔵品の整理を行う。
歴史民俗資料の効果的な保存・活用を目指し、施設環境の整備に取り組む	<p>[継続]</p> <p>■資料館、収蔵庫の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 漆の郷づくり推進課と連携し、重要文化財収蔵庫の改修に係る準備を進めた。 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化財収蔵庫の改修に係る実施設計の策定とともに収蔵品の移転を進め、次年度以降の整備につなげることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化財収蔵庫の効果的な保存・活用ができるように漆の郷づくり推進課と整備を進める。
歴史民俗資料を活用し、市民等に郷土史学習の機会を提供する	<p>[継続]</p> <p>■資料館、収蔵庫の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料館、収蔵庫で保管している民俗資料等を活用し、企画展、講演会を開催した。 <p>○二戸 企画展 「二戸の化石展」 企画展講演会 「二戸の地史 ー日本海形成から折爪岳までー」</p> <p>○浄法寺 ミニ企画展 「天台寺絵図と新収蔵資料から」</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸歴史民俗資料館入館者数(人) R3 : 1,000 R7 : 1,000 (R6達成率 51.3%) 浄法寺歴史民俗資料館入館者数(人) R3 : 800 R7 : 800 (R6達成率 121.3%) 	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史民俗資料館の入館者は、目標値に対し二戸は達成に至らなかったが、浄法寺は達成することできた。 企画展や講演会の開催により、参加者に郷土史の理解を深めてもらうことができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの人に資料館を利用いただけるよう、郷土史への理解を深めるための講座や企画展の拡充を図っていく。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二戸歴史民俗資料館入館者数(人) R6 : 513 (R5実績値 688) 浄法寺歴史民俗資料館入館者数(人) R6 : 971 (R5実績値 953)
項目	②市史編さん事業の推進 【生涯学習課】	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
市に関する史料の調査研究をしながら史実をまとめ、二戸市史を刊行し、市民への周知を図る	<p>[継続]</p> <p>■史料叢書の継続発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> 史料叢書第二十五集「藩政期の二戸 福岡 浄法寺8」を発刊した。 <p>■ホームページ等を活用した市史の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 発刊されている市史をホームページで内容を紹介している。また、昨年度に発刊した史料叢書第二十四集「藩政期の二戸 福岡 浄法寺7」については広報にのへを活用し、周知した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書籍発刊をホームページや広報にのへにより周知したほか、市史編さん専門員によるカシオペアFMの出前講座においても史料叢書を紹介できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に現存する史料は多数あり、継続して史料の読解整理を進め、史料叢書等にまとめる。 広報にのへ、ホームページのほか、出前講座等を活用し、市史の紹介を継続する。

分野4 スポーツの推進

施策 (1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進																												
項目 ①生涯スポーツと健康づくりの推進 【生涯学習課】																												
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等																										
市民がそれぞれのライフステージでスポーツを楽しめる活動の場の提供を図る	<p>[継続]</p> <p>■各種スポーツ大会、教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会や体力づくり振興会等と連携し、大会や教室を開催した。 <table border="0"> <tr><td>市民総参加スポーツ大会</td><td>135人</td></tr> <tr><td>市内少年野球大会</td><td>4チーム</td></tr> <tr><td>ナイタースポーツ</td><td>83人</td></tr> <tr><td>柔道・剣道教室</td><td>55人</td></tr> <tr><td>ニュースポーツ交流大会</td><td>77人</td></tr> <tr><td>体力づくり野球大会</td><td>262人</td></tr> <tr><td>水中運動教室 45回</td><td>746人</td></tr> <tr><td>市民水泳大会</td><td>59人</td></tr> <tr><td>市内スキー選手権大会</td><td>17人</td></tr> <tr><td>体力テスト</td><td>45人</td></tr> <tr><td>小中学校相撲大会</td><td>39人</td></tr> <tr><td>二戸市子どもスキー教室</td><td>12人</td></tr> <tr><td>体力づくりカローリング</td><td>13人</td></tr> </table>	市民総参加スポーツ大会	135人	市内少年野球大会	4チーム	ナイタースポーツ	83人	柔道・剣道教室	55人	ニュースポーツ交流大会	77人	体力づくり野球大会	262人	水中運動教室 45回	746人	市民水泳大会	59人	市内スキー選手権大会	17人	体力テスト	45人	小中学校相撲大会	39人	二戸市子どもスキー教室	12人	体力づくりカローリング	13人	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と協議のうえ、7つの大会等を開催。市民のライフステージに応じたスポーツ活動の機会を提供できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全にスポーツ活動ができるライフステージに応じた機会の提供に努める。
市民総参加スポーツ大会	135人																											
市内少年野球大会	4チーム																											
ナイタースポーツ	83人																											
柔道・剣道教室	55人																											
ニュースポーツ交流大会	77人																											
体力づくり野球大会	262人																											
水中運動教室 45回	746人																											
市民水泳大会	59人																											
市内スキー選手権大会	17人																											
体力テスト	45人																											
小中学校相撲大会	39人																											
二戸市子どもスキー教室	12人																											
体力づくりカローリング	13人																											
各種大会の開催情報、結果情報を発信し、スポーツに対する意識の高揚に努める	<p>[継続]</p> <p>■「広報にのへ」やホームページ等を活用した情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会をはじめ、各競技団体と連携を図り各種大会の開催や実施結果の報告を受ける方式に変更し、広報にのへやホームページにより周知を図った。(お知らせ号へ毎月掲載) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技団体等へ掲載の呼びかけを行ったことにより、これまで掲載できていなかった団体からの掲載依頼を受けることができた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの情報提供が得られるよう、関係団体への周知を図り、スポーツに対する意識の高揚に努める。 																										
項目 ②地域のスポーツ環境の整備 【生涯学習課・教育企画課】																												
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等																										
市民が主体的にスポーツ活動に取り組むことができるよう、学校体育施設を開放し環境整備に努める	<p>[継続]</p> <p>■学校体育施設開放事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の体育施設を開放することにより、スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりに努めた。 <p>≪利用実績≫</p> <table border="0"> <tr><td>利用申込団体数</td><td>25団体</td></tr> <tr><td>利用施設数</td><td>8施設</td></tr> <tr><td>利用延べ回数</td><td>344回</td></tr> <tr><td>利用者延べ人数</td><td>6,282人</td></tr> </table> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業の利用の割合 <table border="0"> <tr><td>利用延べ人数/市の人口×100 (%)</td><td></td></tr> <tr><td>R3 : 20.0</td><td></td></tr> <tr><td>R7 : 20.0 (R6達成率 131.5%)</td><td></td></tr> </table>	利用申込団体数	25団体	利用施設数	8施設	利用延べ回数	344回	利用者延べ人数	6,282人	利用延べ人数/市の人口×100 (%)		R3 : 20.0		R7 : 20.0 (R6達成率 131.5%)		<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設を開放したことにより、市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供できた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民がスポーツやレクリエーションに親しむことができるよう、学校体育施設を開放し、環境整備に努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業の利用の割合 <table border="0"> <tr><td>利用延べ人数/市の人口×100 (%)</td><td></td></tr> <tr><td>R6 : 26.3 (R5実績値16.9)</td><td></td></tr> </table>	利用延べ人数/市の人口×100 (%)		R6 : 26.3 (R5実績値16.9)									
利用申込団体数	25団体																											
利用施設数	8施設																											
利用延べ回数	344回																											
利用者延べ人数	6,282人																											
利用延べ人数/市の人口×100 (%)																												
R3 : 20.0																												
R7 : 20.0 (R6達成率 131.5%)																												
利用延べ人数/市の人口×100 (%)																												
R6 : 26.3 (R5実績値16.9)																												

分野4 スポーツの推進

目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>スポーツ振興を図るため、各種スポーツ団体や指導者の育成について支援を行う</p>	<p>[継続]</p> <p>■各種スポーツ団体及び指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ団体の活動に対し、補助金支援のほか、スポーツ団員、指導者向け研修会を開催した。 <p>≪補助金≫</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会補助金 市スポーツ少年団補助金 市体力づくり振興会補助金 浄法寺地区体育祭実行委員会補助金 スポーツ交流事業補助金 <p>≪研修会≫</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団研修会（団員、指導者） <p>■スポーツ推進委員の活動機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 市スポーツ推進委員協議会では、スポーツイベントを運営した。 <p>【運営（従事）事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースポーツ交流大会（シャフルボード） 市民総参加スポーツ大会（シャフルボード） 指導者派遣（卓球バレー、カローリング） 二戸地区生涯スポーツ交流会（モルック） <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市登録スポーツ少年団指導者数の割合 指導者数/団員数×100（%） <p>R3：21.0 R7：21.0（R6達成率 73.3%）</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金支援により各種スポーツ団体の育成支援が図られたほか、指導者研修の実施によりスポーツ振興を進める上での指導者育成が図られた。 スポーツ推進委員のニュースポーツへの参加機会の確保と研修によりスポーツを支える人材育成が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ団体及び指導者の育成について支援を継続し、スポーツ振興が図られるよう努める。 <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市登録スポーツ少年団指導者数の割合 指導者数/団員数×100（%） <p>R6：15.4（R5実績値 16.7）</p>
項目	<p>③多種・多様なスポーツ団体の育成 【教育企画課・生涯学習課】</p>	
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
<p>児童生徒の文化・体育活動を支援する</p>	<p>[継続]</p> <p>■小中学校文化・体育大会出場費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校（1団体2大会）、中学校（3団体31大会）、スポ少（10団体・個人19大会）に対し、大会出場に必要な経費の一部を補助した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県大会以上へ勝ち進んだ団体等へ補助することで、経済的負担軽減と文化・体育活動の振興につながった。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校や各競技団体へ制度周知を図りながら、大会出場等に係る支援を行う。
<p>活動を支援するため、各種団体等と連携に努め、選手の育成と競技力向上を図る</p>	<p>[継続]</p> <p>■各種大会開催補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 3団体に対し、県大会以上の大会開催に係る経費の一部を補助した。 <p>学童軟式野球大会新人大会岩手県大会補助金 原田源治旗高校新人剣道大会補助金 北奥青少年柔道大会補助金</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請のあった3団体に対し、大会開催に係る経費の一部を補助することにより、大会開催の支援を図るとともに、地元でのレベルの高い大会の開催により競技力の向上を図った。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各競技団体と連携を図りながら、大会運営に係る支援を行う。

施策 (2) 体育施設的环境整備		
項目 ①体育施設の整備・充実 【生涯学習課】		
目的	令和6年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
継続的にスポーツ活動に取り組むことができるよう体育施設的环境整備に努める	<p>[継続]</p> <p>■体育施設の運動機器の修繕・更新</p> <p>■体育施設の整備・改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンター防災設備等工事 ・スポーツセンターボイラー修繕 ・スポーツセンター地下タンクフロート交換 ・浄法寺運動公園遊具修繕 	<p>◎評価 【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕等により、市民が安心して利用できる環境整備が図られた。 <p>[今後の方向性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している施設が多くなってきていることから、各施設の点検を行い、より安全に利用できる環境整備に努める。